FANCL

株式会社ファンケル

第23期

中間事業報告書

平成14年4月1日～平成14年9月30日
（連結ベース）

株主のみなさまへ

企業理念

世の中の不安や不満などの“不”を解消すること

ファンケルはこれからも
世の中の“不”の解消に挑戦します
お客さまの笑顔
それがファンケルの原動力です

ファンケルグループ代表　**池森 賢二**

当中間期の業績について

株主のみなさまには日頃から格別のご支援ならびにご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。当中間期（平成14年4月～平成14年9月）の連結決算についてファンケルグループ代表池森賢二より、ご報告申し上げます。

当中間期の売上高は43,538百万円（前年同期比5.2％増）、経常利益は5,929百万円（同15.6％増）、中間純利益は3,077百万円（同11.9％増）となりました。事業別の売上高をみますと、化粧品は前年を微かに上回りましたが、健康食品は前年を若干下回る結果となりました。一方、その他事業は、発芽玄米および青汁が好調で前年を大きく上回りました。

ファンケル化粧品は当中間期より、外からの化粧品だけでは美しくなることに限界があると考え、研究開発力に裏打ちされた、化粧品とサプリメントの併用による「内外美容」を提案しております。この内外美容の考えに基づき、3月に発売した新基礎化粧品シリーズ「FENATTY（フェナティ）」に続き、4月に「Evanté（エヴァンテ）」、そして6月には大人のニキビ用「CLEARTUNE（クリアチューン）」を発売しました。また、店舗においては美白やくすみ、シワなど肌悩み別に、お客様が見やすく買いやすい売場展開を進めております。さらに10月からは創業以来の情報誌「エスポワール」を内外美容情報誌「ファンケルライフ」に誌名変更し、内容も刷新しました。

一方、アテニア化粧品は、2月と9月に行った製品のリニューアルおよび広告宣伝や販売促進策が功を奏し、売上が増加しております。

健康食品は、サポートシリーズが堅調に推移し、また新たにローソンで15品目の販売を開始しました。しかし、中国製ダイエット食品の問題が期中発生したことによる影響に加え、大手食品メーカーの新規参入によって競争が激化し、通信販売・店舗販売ともに顧客数が減少したため、売上向上には至りませんでした。

その他事業の中では、発芽玄米と青汁が好調に推移しています。発芽玄米の売上高は3,176百万円（前年同期比110.4％増）、青汁は1,035百万円（同100.9％増）となりました。

発芽玄米は通信販売でのお試しセットや全米販、ホクレンへのOEM（相手先ブランド）供給により売上が増加しております。また、青汁は通信販売が好調だったことに加えて、コンビニエンスストア向け3個パックの販売開始により取扱い店舗が増加しました。なお、発芽玄米はギャバ（γ－アミノ酪酸）を始め栄養素が白米と比べて豊富なことから、学会などで成人病や高脂血症および便秘、ダイエットなどに効果があることを発表しております。

今後の経営課題は、収益の源泉である化粧品関連事業と健康食品関連事業の事業基盤の一段の強化を図り成長軌道に戻すこと、および新規事業を早期に黒字化させることであると認識しております。また、株価低迷の現状に鑑み、株主さま重視の施策は欠くことができない重要な課題であると考えております。機動的な資本政策の遂行を可能とすべく、平成14年6月16日の株主総会でご承認いただきました「1,500千株、50億円を上限とする自己株式の市場買付け」につきましては、10月11日現在で406千株、1,591百万円の買付けをいたしましたことをご報告させていただきます。

以上、株主のみなさまにおかれましては、当グループの経営姿勢をご理解いただき、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

contents

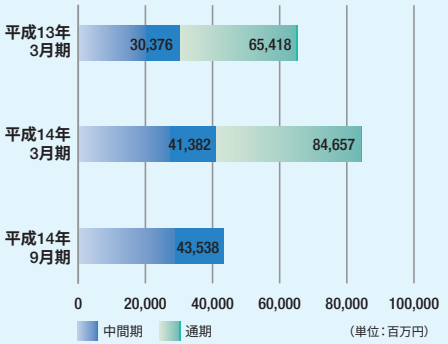
株主のみなさまへ …… 1
連結決算ハイライト …… 1
化粧品関連事業 …… 2
健康食品関連事業 …… 4
その他事業 …… 6
ファンケルの「内外美容」…… 8
トピックス …… 9
連結決算の状況 …… 10
単独決算の状況 …… 12
株式の状況 …… 13
役員 …… 13

連結決算ハイライト

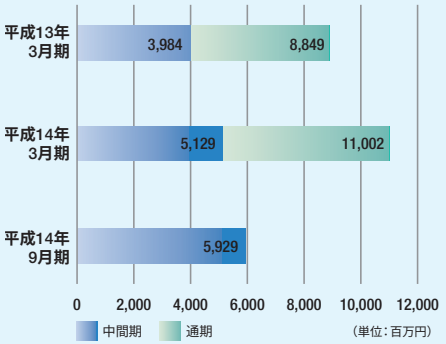
	当中間期（百万円）	対前中間期（%）
売上高	43,538	105.2
化粧品関連事業	18,509	101.7
健康食品関連事業	14,217	99.6
その他事業	10,811	121.4
経常利益	5,929	115.6
中間純利益	3,077	111.9
1株当たり中間純利益（円）	（131.99）	93.6
総資産	78,859	103.7
株主資本	66,100	107.1

注）当中間期より、FANCL ASIA（PTE）LTDが連結の対象となりました。

売上高



経常利益



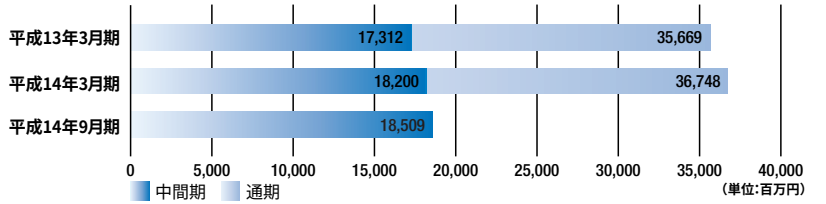
化粧品関連事業

COSMETIC PRODUCTS

無添加エイジングケア「エヴァンテ」誕生

平成14年4月、加齢や生活環境のストレスなどによる肌老化を予防し、若々しい素肌を保つエイジングケア「Evanté（エヴァンテ）」が誕生しました。表皮と真皮をつなぐ基底膜を強化し、弾力とうるおいに満ちた肌へと導くだけでなく、昼用ケアと夜用ケアを分けることで、光老化にも対応します。さらに、身体の中から年齢に負けない美しさを応援するサプリメントもラインナップしました。

売上高



無添加スキンケア「クリアチューン」新発売

大人のニキビに着目して、平成14年6月に「CLEARTUNE（クリアチューン）」が誕生しました。全品無添加・医薬部外品の高機能・高効果で大人のニキビはもちろん、皮脂が酸化してデリケートに傾いた過剰皮脂敏感肌の肌荒れも徹底的にケアします。また、サプリメントをラインナップに加え、肌内外からのアプローチで透明感あふれる健やかな美肌へ導きます。

アテニア 基礎化粧品リニューアル

平成14年9月にアテニアは基礎化粧品をリニューアルしました。一日の中で変化する女性の「生体リズム」に着目し、最先端の美容理論に基づいて開発。肌の老化に積極的に働きかける美容成分を贅沢（ぜいたく）に配合しています。これまでお客様にご愛用いただいた旧商品の使用感と価格は維持して、大幅に機能をアップ。また容器をガラスから樹脂へ切り替え、環境に配慮しました。

健康食品関連事業

NUTRITIONAL SUPPLEMENTS

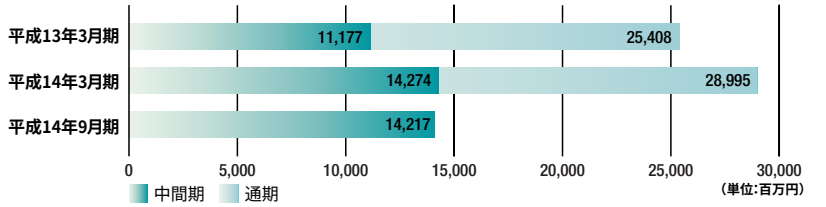
健康補助食品で世界初の「植物由来カプセル」を導入

平成14年5月、植物に由来するハードカプセルを用いた健康補助食品の開発に世界で初めて成功し、順次商品へ導入を開始しました。今回導入した「植物由来カプセル」はとうもろこしから取れるプルランを原料とする天然の物質で、高い安定性を保つほか、充填物を酸化から守る特性を有するなど「安心・安全」を追求した商品です。

「ハーブサプリメント」シリーズ新登場

平成14年6月、ファンケル「ハーブサプリメント」シリーズを新発売しました。ハーブ系の素材は注目を集めており、日本においても急速に広まりつつあります。ファンケルではその中でも特に健康に有用であると認められているハーブ素材を厳選し、高品質・適正価格での商品化を実現しました。

売上高



「コエンザイムQ10」新発売

平成14年5月、健康に不可欠なものとして欧米で人気の「コエンザイムQ10」を新発売しました。常に体中に血液を送りだしている心臓や筋肉は大きなエネルギーを使います。このエネルギーをつくるのに欠かせない重要な栄養素が「コエンザイムQ10」です。外側からしっかり補給し、加齢に伴う減少を抑えます。

「スリムプレイヤー」新発売

平成14年9月、運動効果を強力にサポートする「スリムプレイヤー」を新発売しました。注目のアミノ酸をはじめ、運動によるダイエットを助ける成分を複合的に配合した高機能サプリメントです。目的に応じて顆粒とチュアブルの2タイプをそろえました。運動が続かない方や運動後の疲れが気になる方にもおすすめです。

その他事業

OTHERS

青汁事業

「ファンケル 冷凍青汁3パック入り」新発売

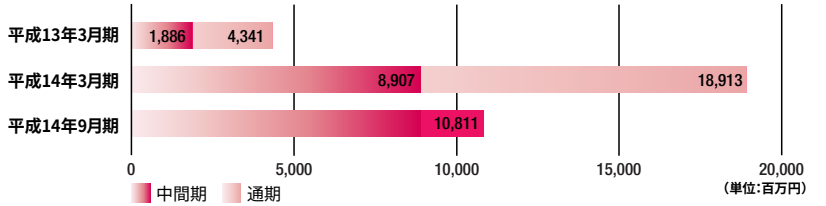
「飲みやすい味」「買いやすい価格」「入手しやすい販路」を追求し、みなさまにご好評いただいております「ファンケル青汁」。平成14年7月より「冷凍青汁3パック入り」をコンビニエンスストアで新発売いたしました。300円(税別)というお買い求めやすい価格で、さらに多くの方々に気軽に飲んでいただけるようになりました。

発芽玄米事業

「ポップライスクラッカー」・「もち米発芽米」新発売

豊富な栄養素と食べやすさが人気の「ファンケル発芽米」。当中間期で、新たに「ポップライスクラッカー」と「もち米発芽米」が仲間入りしました。「ポップライスクラッカー」は、軽い口当たりとすぐに食べられるクラッカータイプが魅力です。また、もち玄米を発芽させた「もち米発芽米」は、今までに無い香ばしさとこしのある食べ応えを楽しむことができます。

売上高



快適生活事業

365日、ここちよく美しく「ファンケル快適肌着」

「ファンケル快適肌着」は、敏感肌の方まで安心して着ていただけるよう100%スキンケア素材を使用し、からだに無理なく美しいボディラインを実現するために、身体構造に基づく独自の設計で着心地のよさを追求しています。

暮らしをステキに快適にする雑貨のカタログ「ZAKKU ZAKKA(ザック ザッカ)」

お客様が安心して手に取れる安全なモノ、日頃感じている不満や不便さを解消する機能性の高いモノ、そして心に働きかけそれを使うだけで心が癒されるようなモノ作りを目指しています。

NGC通販事業

「いいモノ、いい出会い」

様々な生活シーンでお客様にご満足いただける「商品」と「サービス」を提供しているNGC通販事業。電動足元マッサージ器具「フットマッサージャー・モミギアー」や、スポーツ医学に基づいて開発されたサポーター「お医者さんのコルセット」など、リラクゼーション器具・健康器具の売上が好調です。

ファンケルの「内外美容」

ファンケルだからできる「内外美容」

ファンケルでは、中央研究所の設立以来、それぞれの分野で博士号取得者を含め多くの研究員が研究開発活動を続けてまいりました。その結果、無添加化粧品の研究成果と、健康食品の高い技術力を融合させた美容法、「内外美容」を確立しました。

無添加化粧品による肌の外側からのケア、サプリメントによる身体の内側からのケア、この両方の相乗効果により、トータルな美しさ、健やかさを引き出します。

今後は、10月より創刊した情報誌「ファンケルライフ」の中で、この「内外美容」理論を基軸とし、美容と健康に関する提案から生活提案まで、幅広く厳選した情報を発信していきます。

トピックス
TOPICS

「カルフィー」シリーズ 新発売

平成14年11月1日より、限定直営店舗およびインターネット、通信販売で「Culfée(カルフィー)」シリーズの発売を開始しました。「カルフィー」シリーズは、ファンケルで初めて若年層をターゲットとし、スキンケアとメークアップをトータルに揃えたブランドです。ファンケルの「安全・安心・やさしさ」を基本に、デザイン・特長成分等を自然派化粧品が好きな若い世代の嗜好に合わせて開発しました。

新業態の直営店舗「ミオファンケル」オープン

平成14年9月、「楽しさ、かわいさ、おしゃれさ」をテーマとし、18歳から24歳の女性をメインターゲットとする新業態の直営店舗「ミオファンケル」をマルイシティ渋谷店、マルイミニ立川店内にそれぞれオープンしました。「ミオ」とはイタリア語で「私の」という意味で、同店舗ではイベント色の強い機能やサービスシステムを導入して、お客様に共感していただける店作りを目指します。

ファンケルシニアクラシック開催

平成14年8月23日から25日の3日間、静岡県の裾野カンツリー倶楽部にてPGAシニアツアー「第2回ファンケルシニアクラシック」を開催しました。同ツアーはシニアツアー最大規模の賞金総額を誇り、本年は高橋勝成プロが2連覇を飾りました。ファンケルでは「中高年」の元気は日本の元気と考え、これからも元気なシニアを応援してまいります。

連結決算の状況

中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前中間期（平成13年9月30日現在）	当中間期（平成14年9月30日現在）	前期（平成14年3月31日現在）
（資産の部）			
流動資産	42,856	**43,393**	43,561
現金及び預金	16,050	**19,460**	19,804
受取手形及び売掛金	8,464	**8,178**	8,298
有価証券	11,728	**7,731**	7,731
たな卸資産	5,137	**6,551**	5,483
その他流動資産	1,475	**1,471**	2,244
固定資産	33,219	**35,465**	35,464
有形固定資産	23,042	**23,165**	24,053
建物及び構築物	9,159	**9,578**	9,836
その他有形固定資産	13,883	**13,586**	14,217
無形固定資産	2,613	**2,102**	2,354
投資その他の資産	7,562	**10,198**	9,055
投資有価証券	1,417	**1,020**	1,183
長期貸付金	1,183	**1,031**	1,122
保証金	2,411	**2,408**	2,349
その他投資その他の資産	2,549	**5,737**	4,400
資産合計	76,076	**78,859**	79,026
（負債の部）			
流動負債	12,132	**10,709**	12,479
支払手形及び買掛金	3,543	**3,401**	3,638
短期借入金	920	**-**	-
その他流動負債	7,668	**7,308**	8,841
固定負債	2,211	**2,048**	1,828
長期借入金	640	**150**	350
その他固定負債	1,571	**1,898**	1,478
負債合計	14,344	**12,758**	14,308
（資本の部）			
資本金	10,795	**-**	10,795
資本準備金	11,706	**-**	11,706
連結剰余金	39,242	**-**	42,245
その他有価証券評価差額金	△11	**-**	△18
自己株式	△0	**-**	△9
資本合計	61,731	**-**	64,718
資本金	-	**10,795**	-
資本剰余金	-	**11,706**	-
利益剰余金	-	**44,963**	-
その他有価証券評価差額金	-	**△13**	-
為替換算調整勘定	-	**△9**	-
自己株式	-	**△1,341**	-
資本合計	-	**66,100**	-
負債・資本合計	76,076	**78,859**	79,026

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前中間期（平成13年4月1日から平成13年9月30日まで）	当中間期（平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）	前期（平成13年4月1日から平成14年3月31日まで）
売上高	41,382	**43,538**	84,657
売上原価	13,594	**14,641**	27,975
売上総利益	27,788	**28,896**	56,682
販売費及び一般管理費	22,887	**23,304**	45,563
営業利益	4,901	**5,591**	11,118
営業外収益	443	**525**	636
営業外費用	215	**188**	753
経常利益	5,129	**5,929**	11,002
特別利益	7	**19**	0
特別損失	352	**553**	458
税金等調整前中間（当期）純利益	4,784	**5,395**	10,544
法人税、住民税及び事業税	2,295	**2,585**	4,745
法人税等調整額	△259	**△267**	△195
中間（当期）純利益	2,749	**3,077**	5,995

中間連結剰余金計算書

（単位：百万円）

科目	前中間期（平成13年4月1日から平成13年9月30日まで）	当中間期（平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）	前期（平成13年4月1日から平成14年3月31日まで）
連結剰余金期首残高	36,977	**-**	36,977
連結剰余金減少高	483	**-**	727
中間（当期）純利益	2,749	**-**	5,995
連結剰余金中間期末（期末）残高	39,242	**-**	42,245
（資本剰余金の部）	-		-
資本剰余金期首残高	-	**11,706**	-
資本剰余金中間期末（期末）残高	-	**11,706**	-
（利益剰余金の部）	-		-
利益剰余金期首残高	-	**42,245**	-
利益剰余金増加高	-	**3,077**	-
利益剰余金減少高	-	**358**	-
利益剰余金中間期末（期末）残高		**44,963**	

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前中間期（平成13年4月1日から平成13年9月30日まで）	当中間期（平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）	前期（平成13年4月1日から平成14年3月31日まで）
Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,038	**3,283**	7,425
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,297	**△2,094**	△5,416
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△927	**△1,977**	△2,456
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	**△20**	9
Ⅴ 現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△194	**△808**	△437
Ⅵ 現金及び現金同等物期首残高	27,947	**27,535**	27,947
Ⅶ 新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	25	**20**	25
Ⅷ 現金及び現金同等物中間期末（期末）残高	27,779	**26,747**	27,535

単独決算の状況

中間貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前中間期（平成13年9月30日現在）	当中間期（平成14年9月30日現在）	前期（平成14年3月31日現在）
（資産の部）			
流動資産	34,435	**33,743**	34,150
固定資産	30,215	**33,604**	32,995
有形固定資産	18,686	**18,525**	18,907
無形固定資産	1,367	**1,132**	1,245
投資その他の資産	10,161	**13,947**	12,842
資産合計	64,651	**67,348**	67,146
（負債の部）			
流動負債	8,209	**7,942**	8,865
固定負債	1,872	**1,348**	1,518
負債合計	10,082	**9,291**	10,384
（資本の部）			
資本金	10,795	**-**	10,795
資本準備金	11,706	**-**	11,706
利益準備金	267	**-**	267
その他の剰余金	31,812	**-**	34,021
その他有価証券評価差額金	△11	**-**	△18
自己株式	△0	**-**	△9
資本合計	54,569	**-**	56,762
資本金	-	**10,795**	-
資本剰余金	-	**11,706**	-
利益剰余金	-	**36,901**	-
その他有価証券評価差額金	-	**△4**	-
自己株式	-	**△1,341**	-
資本合計	-	**58,057**	-
負債・資本合計	64,651	**67,348**	67,146

中間損益計算書

（単位：百万円）

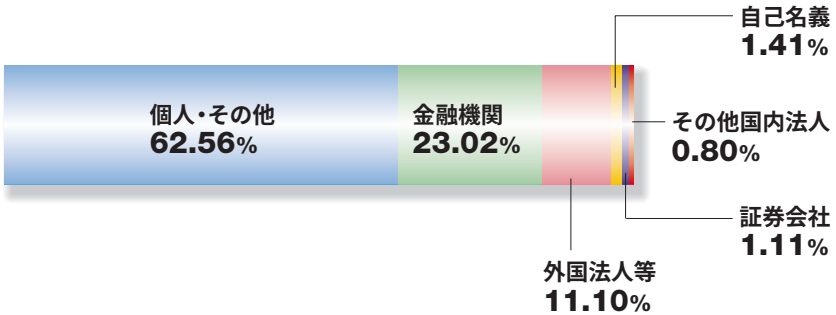
科目	前中間期（平成13年4月1日から平成13年9月30日まで）	当中間期（平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）	前期（平成13年4月1日から平成14年3月31日まで）
売上高	33,038	**34,614**	66,302
売上原価	10,694	**11,666**	21,759
売上総利益	22,344	**22,947**	44,543
販売費及び一般管理費	18,466	**18,558**	36,088
営業利益	3,877	**4,388**	8,455
営業外収益	583	**769**	861
営業外費用	187	**178**	592
経常利益	4,273	**4,979**	8,723
特別利益	-	**14**	-
特別損失	338	**51**	456
税引前中間（当期）純利益	3,935	**4,942**	8,266
法人税、住民税及び事業税	1,790	**2,214**	3,567
法人税等調整額	△197	**△128**	△94
中間（当期）純利益	2,341	**2,856**	4,794
前期繰越利益	370	**377**	370
中間配当額	-	**-**	243
中間（当期）未処分利益	2,712	**3,233**	4,921

株式の状況

（平成14年9月30日）

会社が発行する株式の総数 ――――――77,946,000株
発行済株式の総数 ――――――――――23,392,200株
株主数 ――――――――――――――――18,948名

株主構成比率



役員

（平成14年9月30日）

代表取締役社長	池森賢二	常勤監査役	米田康弘
代表取締役専務	山本尚	常勤監査役	池田文子
代表取締役専務	田多井毅	監査役	小関勝紀
取締役副会長	池森政治	執行役員	石渡健一
常務取締役	國分孝夫	執行役員	石田隆男
常務取締役	成松義文	執行役員	与田尚久
取締役	松本克彦	執行役員	宮原修司
取締役	宮島和美	執行役員	小池政義
取締役	藤田紘一	執行役員	片瀬信郎
取締役	岡田隆吉	執行役員	須釜憲一

FANCL
株式会社ファンケル

［本　　店］〒247-8577 横浜市栄区飯島町109-1
［本社事務所］〒231-8528 横浜市中区山下町89-1
TEL.045（226）1200（代表）

当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

http://www.fancl.co.jp

株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	3月31日
1単元の株式数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部　TEL.03-5683-5111
同取次所	UFJ信託銀行株式会社　全国各支店
公告の方法	日本経済新聞に掲載

当社株式に関する事務手続き用紙（お届出の住所・姓名・印鑑等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話並びにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

☎（通話料無料）0120-24-4479（本店証券代行部）
0120-68-4479（大阪支店証券代行部）

インターネットアドレス
http://www.ufjtrustbank.co.jp

再生紙を使用しています。